

令和3年度自己評価及び学校関係者評価書

令和4年3月11日  
函館市立青柳中学校

1 本年度の重点教育目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らのよさに気づき、主体的に学習に取り組む生徒の育成 〈自立〉</li> <li>・思いやりをもち、互いに助け合う生徒の育成 〈互恵〉</li> <li>・自ら行動し、よりよい郷土・社会・人生を創る生徒の育成 〈貢献〉</li> </ul>
--

2 本年度の取組の重点

青柳スタンダード「時を守り、礼を正し、正義を貫く」の定着 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒を第一に考えた教育活動の推進</li> <li>・教職員が協働して活動する教育活動の推進</li> <li>・保護者や地域から信頼される教育活動の推進</li> </ul>
---

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		識 状	改善の方策	自己評 価の適 切さ	改善の 方策の 評価	主な意見（改善策など）
① 確かな学力を育む教育の推進	・教育目標達成のためのバランスのとれた教育課程の編成・実施になっているか。	b	・学習、指導方法の工夫・改善を心掛け、学校教育目標の実現に向けた教育課程の編成を進める。また、学校再開後の適切な教育課程の再編成と実施する。	A	A	
	・確かな学力と学ぶ力の育成を目指し、多様な指導方法の工夫や授業改善に努めているか。	b	・授業の内容を工夫し、目標の提示やまとめを行い、多様な指導方法で授業を行う。	A	A	・端末機と個別最適な学びを連動させ、確かな学力の向上を図ってほしい。
② 豊かな心を育む教育の推進	・学校の教育活動全般を通して、道徳的な判断力や実践力の向上が図られているか。	b	・道徳教育を中心に、授業の工夫や改善を協議し、共通理解を基に、判断力や実践力の向上に努める。	A	A	
	・コミュニケーションの基本としての挨拶や返事などを通し、公共性、社会性を育むことができたか。	b	・挨拶の励行を基本に、学習規律への位置付けや特別活動などをとおして、指導の充実、工夫改善に努める。	B	A	・コミュニケーションの育成は、多くの人とのかかわりの中で培われるように思います。今後の取組に期待します。
③ 健やかな体を育む教育の推進	・生徒の自己管理能力を高める健康安全教育の指導がなされているか。	b	・学級活動等を中心に健康安全に関する指導を推進する。	A	A	
	・食育や性の教育など、体力向上に向けた取組がなされているか。	b	・制限のあるなかで、できるだけ引き続き通信の発行や、学級・教科指導を通して望ましい食育や運動等に係わる指導を進める。	B	A	
④ 学校における指導体制等の充実	・教育目標がすべての教育活動で具現化、具体化され、日々の教育活動が実践されているか。	b	・教育目標の達成に向けて、学習指導や生徒指導等、各学年や分掌が連携した取組を推進する。	A	A	
	・全教職員が生徒指導上の課題を共有し、学校全体として組織的で適切な生徒指導が行われているか。	b	・指導事項や指導体制の共通理解を図り、適切な指導を概ね行うことができた。一層の協働姿勢の構築に努める。	A	A	・協働のために同僚性の構築を具体的に進めてほしい。
⑤ 家庭・地域と連携・協働した教育活動の充実	・保護者や地域の方に様々な教育活動を公開し、学校改善に役立て、積極的な情報発信に努めているか。	b	・学校だよりやHPを活用して保護者や地域に情報を発信したり、参観や懇談会など活用したりなど、家庭や地域と連携した学校教育を継続、推進する。	A	A	・たくさんの保護者がHPの内容等を高く評価しています。継続してお願いします。
	・地域人材を活用したり、地域の自然や文化を生かしたりした教育活動の工夫が図られているか。	b	・校外活動や職場体験などにおいて西部地区中心に行うなど、身近な地域の文化、歴史を調べるなどの教育活動を継続して推進する。	A	A	・ウィズコロナでできる「地域との連携」「CS」の効果的なあり方を協議したいと思っています。 ・教育講演会は、生徒にとっても有意義な時間だったと思う。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。